

評価委員会総合評価

研究課題名：沿岸海況予測技術の高度化に関する研究

評価委員

委員長：田中正之

委員：岩崎俊樹、木村富士男、佐藤 薫、藤吉康志、渡邊朝生

評価年月日：平成 25 年 10 月 21 日

1. 総合評価

- (1) 実施の可否 可 否
(2) 修正の必要の有無 修正の必要あり 修正の必要なし

2. 総合所見

沿岸域の海況予測情報は、沿岸防災・海況情報の精度向上に資するのみならず、漁業や海運、洋上風力発電などの分野でニーズが高いことから、沿岸域の海況を高精度で予測可能な高解像度モデルの開発が必要不可欠である。

本研究は、先行研究で得られた知見を十分に活用した、次世代の沿岸海況予報技術の獲得を目的としており、具体的には、沿岸海況変動を再現可能な現業用高解像度日本近海海洋モデルの開発、ダウンスケーリングのための初期値作成技術の開発と検証、各種沿岸海況変動要因の解明、日本沿岸海況監視予測システムの構築を目指しており、適切な課題設置となっている。

特に、日本沿岸海況監視予測システムは、平成 30 年度の現業運用開始に向け開発を進めるものであり、研究成果が現業業務に直結し、かつ社会的ニーズに即したものとなっている。また、このシステムを活用し、急潮等の極端現象の予測精度の向上や物質輸送の研究課題との連携により新たな知見の獲得が期待できる。

なお、研究の実施に当たっては重要な達成目標（重点課題）の具体化やモデルの計算結果の検証に必要となる観測実施機関との連携に留意し、効率的かつ効果的な研究推進に努めるとともに、海洋は大気比べて観測データが少ないことから、適切な観測システムの提案につながる成果やモデル・同化手法の開発などによる成果の獲得も期待する。